

新刊図書の紹介

「魚道及び降下対策の知識と設計」

魚がすみやすい川づくりをめざして堰、床止めなどの河川横断施設の改善や、その周辺の改良などを積極的に行う「魚がのほりやすい川づくりモデル事業」が全国で行われており、魚道の設置や改良の問題がますます重要となっています。

本書は、フランスのラリニエ博士をはじめとする、世界的にも第1級の魚の通路専門家たちによって書かれた魚道と降下魚対策の本を翻訳したものです。

「日本の魚道研究者や技術者へ本書を紹介することで役立ててもらおう」という主旨に対して、著者であるラリニエ博士のご好意により、この度発行することができました。

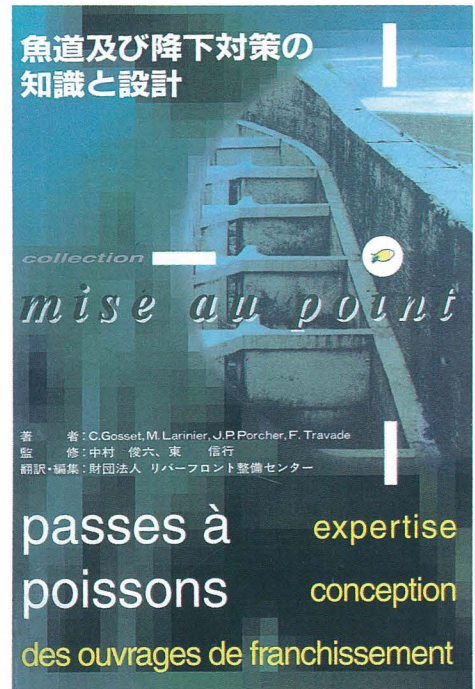
翻訳については、原著者の意図の忠実な再現のため、豊橋技術科学大学の中村俊六先生と東信行先生に監修をお願いしました。

本書は、日本における魚道と、さらに広く回遊魚のための河川整備にも大いに役立つものと考えられますので、ぜひご一読をおすすめします。

なお、限定部数での発行ですので、お早めにお申し込み下さい。

【主要目次】

- 第1章 魚道：生物学的基礎、限界および法規の確認
- 第2章 魚道に関する総論
- 第3章 魚道の設計において考慮すべき生物学的要因、回遊に対する障害の概念
- 第4章 魚道の設置場所
- 第5章 プールタイプ魚道、プレバラーージュ（補助堰堤）、および人工川道
- 第6章 阻流板式魚道
- 第7章 閘門式魚道とエレベーター式魚道
- 第8章 カルバート、巨石乱積み床固めおよび河口工作物の遡上
- 第9章 アローサ用魚道の設計
- 第10章 ウナギ用魚道
- 第11章 魚道プロジェクトの設計、工事の遂行、コスト、縮小モデルによる研究
- 第12章 魚道の管理技術
- 第13章 降下回遊：問題と施設
- 第14章 遡上回遊魚の進入防止・誘導障壁バリア
- 第15章 語義
- 第16章 参考文献
- 第17章 施工事例



平成8年12月6日発行

著者：C.ゴセ・M.ラリニエ

J.P.ボルシェ・F.トラヴァード

監修：中村俊六・東信行

発行：（財）リバーフロント整備センター

体裁：163mm×238mm、オールカラー337頁、

定価：4,738円（本体4,600円）

本書は一般の書店では取り扱っておりません。

お申込みは（財）リバーフロント整備センター（担当：研究第一部伊藤）までお願いします。